

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 森上 繁 年齢 42才 性 男性

2. 研修期間: 1983年3月~1984年3月

3. 研修前所属科: 癌研究所 科 助理所長地位
現在の所属科: 癌研究所 科 助理研究員地位
生化学

4. 研修出発前の研修テーマは?

遺伝子 (gene) 発現の機構

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 大坂市立大学 生化学教室 責任者 森沢成司、行岡宗彦

6. 日本で何を研修しましたか?

- ① DNA複製の機構 (matrix との関連)
 - ② Histone acetyltransferase の性質
 - ③ Heterogeneity of protein kinase II についての研究
7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか?

日本で勉強した実験法と研究思想は現在の仕事に大役に

なりました。この研究テーマは癌遺伝子 (oncogene) の増殖と発現で
すが、日本で研修したことは現在の研究の基礎になっています。

8. 日本での研修の感想を述べてください

1年ほど日本で研修させていただけました。大変有益な経験を

させていただきました。いろいろの感想があります。

① 日本での研究設備 (設備、就業など) が良いので、勉強が
できます。

② テーマのポイントがはっきりしており、研究の目的がはっきり

③ 研究室の管理システムがよいです。

THE ARTICLES PUBLISHED ARE AS FOLLOWS:

1. Translation of mammalian natural mRNA in rabbit reticulocyte lysate

4. 研修出発前の研修テーマは？

遺伝子 (gene) 発現の機構

5. 日本での研修施設、指導責任者は？

施設名 責任者
大塚市立医科大学 森沢成司 行岡家彦

6. 日本で何を研修しましたか？

- ① DNA複製の機構 (matrix との関連)
 - ② Histone acetyltransferase の性質
 - ③ Heterogeneity of protein kinase NII についての研究
7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか？

日本で勉強した実験法と研究思想は現在の仕事によく役にたつます。いまの研究テーマは癌遺伝子 (oncogene) の増幅と発現ですが、日本で研修したことは現在の研究の基礎になっています。

8. 日本での研修の感想を述べてください

1984年11月17日
JICA 1年ほど日本で研修をさせていたが、大きな収穫がありました。

- ① 誠にありがとうございました。いろいろの感想がありましたが、
- ① 日本での研究条件 (設備、執筆など) が良いので、よく研究できます。
 - ② テーマのポイントがはっきりです。研究の方向もはっきりです。
 - ③ 研究室の管理システムがよいです。

THE ARTICLES PUBLISHED ARE AS FOLLOWS:

中国	1. Translation of mammalian natural mRNA in rabbit reticulocyte lysate cell-free protein synthesis system. (1982) Advances in Biochemistry and Biophysics. 4, 52-56. (China)
	2. The protective effect of mammalian natural RNase inhibitor on RNA. (1982) Advances in Biochemistry and Biophysics. 3, 27-29. (China)
	3. Preparation of human globin messenger RNA and translation in vitro. (1983) Acta Biochemica et Biophysica Sinica. 15, 317-324. (China)
日本	4. Two species of histone acetyltransferase in rat liver nuclei. (1984) J. Biol. Chem. 259, 8372-8377. (U.S.A.)
	5. Heterogeneity of protein kinase NII from rat liver nuclei. (1984) Biochem. Biophys. Res. Commun. 123, 398-403. (U.S.A.)
オーストラリア	6. Caffeine-induced reorganization of DNA replicating system occurs on or near nuclear matrix in HeLa cells. (1984) Biochem. Inter. 9, 651-657. (Australia)
	7. Control of activity of protein kinase NII from rat liver nuclei. (1984) Biochemistry. 56, 677. (Japan)
ヨーロッパ	8. Heterogeneity of protein kinase NII (Multiple subunit-polypeptides). (1986) FEBS Lett. 203, 104-108. (Europe)
	9. Enhanced expression of c-myc and Ha-ras oncogenes in human squamous lung cancer. (1988) J. China-Japan Friendship Hospital. 2, 4, 199-200. (China)
	10. Effect of difluoromethylornithine on the growth, differentiation and c-myc, c-fos expression of HL60 cells. (In press) Progress in Biochemistry and Biophysics.
	11. Preliminary study on transforming activity of DNA from human lung carcinoma tissue. (In press) J. China-Japan Friendship Hospital.

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 柴枝楠 年齢 46 性 男
2. 研修期間: 1987年 2月〜〜年 8月
3. 研修前所属科: 救急科 地位 主治医師 (講師)
現在の所属科: 救急科 地位 付主任医師 (助教授)

4. 研修出発前の研修テーマは?

心肺蘇生

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 日本医科大学 責任者 山本保博
救命救急センター

6. 日本で何を研修しましたか?

1. 日本の救急医療のシステム
2. CCUとICU.

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか

設備がないので したいことはなかなかできません。 只今
心肺蘇生の中で ある手技を応用しています, 例えば
股静脈穿刺や鎖骨下静脈穿刺など。

8. 日本での研修の感想を述べてください

日本医大の救命救急センターには 設備が一番上手です
先生も一番やさしいです。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 白静貞 年齢 42 性 女

2. 研修期間: 08年5月～～年8月

3. 研修前所属科: 救急科 地位 主治医師
現在の所属科: 救急科 地位 主治医師

4. 研修出発前の研修テーマは?

救急医学です。

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 責任者
日本医科大学の集中治療室 高野昭夫 副教授

6. 日本で何を研修しましたか?

臨時ペースメーカー挿入技術を研修しました。

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか

蘇醒の時 臨時ペースメーカーを 何回も利用する為に、私科の主任と医者たちが一緒に努力しています。いま設備は殺殺そろそろ来た。それに機会が 毎時 挿入の技術を練習しました。

8. 日本での研修の感想を述べてください

日本の医学技術が 発達です。日本人が 常に 奮闘して 真面目です。これは 我々にとって 一生忘れられない 思い出です。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 魏鳳玲 年齢 34 女性

(Wei Feng Ling)

2. 研修期間: 1997年2月から1997年8月

3. 研修前所属科: 薬剤科 地位 薬師
現在の所属科: 薬剤科 地位 主管薬師

4. 研修出発前の研修テーマは?

西洋薬物の剤型について研究したいというものです。

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 責任者 大浦彦吉教授

6. 日本で何を研修しましたか?

漢方薬剤は臨床利用について研究しました。そのテーマは漢方薬はコデイン誘導性腎不全ラットに対する効果について

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか

以上の仕事は漢方薬の剤型とか有効成分の含量測定などが研究しています。日本で研修したテーマはほとんど関係がありません。

8. 日本での研修の感想を述べてください

日本の西洋薬物の剤型の研究はすぐれています。ここはすすんでいる設備が揃っているからその研究は便利です。さらに漢方薬の化学の定率について大きな成果をおさりました。こちらの研究について研修したらいいと思います。もっと機会があればもう一度研修したいです。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 周書義 年齢 39 性 女
2. 研修期間: 1988年3月 ~ ~ ~ 年 8 月
3. 研修前所属科: 病案科 主管技師 地位
現在の所属科: 病案科 主管技師 地位
4. 研修出発前の研修テーマは?
コンピュータによる病歴管理
5. 日本での研修施設、指導責任者は?
施設名 コンピュータ 責任者 里村洋一
6. 日本で何を研修しましたか?
 1. コンピュータで外来病歴と入院病歴を管理する方法。
 2. 千葉大学病院の「医療データベースシステム」を勉強しました。
 3. MUMPS言語を勉強しました。
7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか?

日本で勉強した管理方法を参考して、病歴室の仕事も指導しました。千葉大病院のコンピュータと使用している言語は私の病院のと異なっているけれども、指導的な思想は同じです。この勉強によって、私の方の素質が高まっていました。
8. 日本での研修の感想を述べてください

日本で半年間には、日本の優れた科学技術を勉強しただけでなく、日本の礼儀と日本人の友情をよく感じました。

日本の科学技術が急速に発展されていて、病歴管理も全面的にコンピュータ化されました。この勉強を始めて、今後とも、学術交流をすすめて、もっと多く先進的な技術を勉強したいと思っております。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 蔣 立 才 年齢 59 才 性 男

2. 研修期間: 1994年 2月 25日 4月

3. 研修前所属科: 康復 科 地位 責任者
現在の所属科: 物理療法科 地位 主任

4. 研修出発前の研修テーマは?

日本国のリハビリテーション医学の発展、現状及び
将来の展望

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 責任者 木村哲彦 先生
日本国立船橋総合リハビリテーションセンター

6. 日本で何を研修しましたか?

日本のリハビリテーションと福祉施設における問題についての
視察と検討

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか

日本で勉強した現代リハビリテーション医学の理論と技術を多くの
場面で関係者に紹介し、又中国伝統医学との統合でき臨症応
用。部下に具すべきの指導。

8. 日本での研修の感想を述べてください

百聞は一見にしかず、大変勉強になりました。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 石炬 年齢 47 性 男

2. 研修期間: 1987年2月〜〜年8月

3. 研修前所属科: 工機生理科 地位 助理研究員
現在の所属科: 工機生理科 地位 助理研究員

4. 研修出発前の研修テーマは?

血液重カ学

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 千葉大学医学部 責任者 萩原彌四郎
脳機能研究施設

6. 日本で何を研修しましたか?

脳血流に対するカルシウム拮抗薬(diltiazem, verapamil, nicardipine)の影響。

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか?

脳血流の探測器機が乏しいので、生かされていません。

十分な残念です。

8. 日本での研修の感想を述べてください

A. 研修の時間がみじかいです

B. 萩原先生の親切におして、懇心にお話をし、私に深い印象が与えて…です。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 志長 小右 年齢 43 性 男

2. 研修期間: 87年2月 ~ ~ ~ 年 87 月 9

3. 研修前所属科: 耳鼻咽喉科 地位 主治医師
現在の所属科: 耳鼻咽喉科 地位 主治医師

4. 研修出発前の研修テーマは?

耳鼻咽喉科の臨床

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 ① 国立病院医療センター 責任者 ② 新村恭也
③ 東京大学医学部

6. 日本で何を研修しましたか? ① 志山 稔

① 側頭骨の解剖

② 耳の手術

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか

中々な病気の患者が少ないが、少し耳の手術をやります

8. 日本での研修の感想を述べてください

日本の医療設備が素晴らしい

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 王麗 年齢 35才 性 女性

2. 研修期間: 1987年2月 ~ ~ ~ 年 8月

3. 研修前所属科: 皮膚科 地位 医師
現在の所属科: 皮膚科 地位 医師

4. 研修出発前の研修テーマは?

電子顕微鏡は皮膚科に應用をします。

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 日本大学 責任者 鈴木敏之

6. 日本で何を研修しましたか?

私は日本に透過電顕、走査電顕と免疫電顕方面のことを研修しました。

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか?

私は中国へ来ると一年半にたりました、この一年半間に私は皮膚科の臨床医学と電顕微鏡方面の研究に従事しています。例えば「透過電顕で免疫電顕方面と皮膚腫瘍方面研究をして、走査電顕で皮膚真菌方面の研究をしています。そして、私は皮膚科の先生ですので、電顕で皮膚病気を研究するのはまた沢山の仕事があると思います。

8. 日本での研修の感想を述べてください

私は日本で研修の間にいろいろ感想があります。例えば、日本国は美しい国です。特別桜が盛開のとき、日本の設備は先進です。日本大学皮膚科の先生はやさしいです。鈴木先生は私の勉強するときに詳しいスケジュールを作って、馬場俊一先生を自ら私に教えてとても親切と真面目な方です。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 斎藤 隆 年齢 52 性 男

2. 研修期間: 1985 年 1 月 ~ ~ ~ 年 7 月

3. 研修前所属科: 皮膚科 科 地位 講師
現在の所属科: 皮膚科 科 地位 高次医療医

4. 研修出発前の研修テーマは?

皮膚科の真菌学

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 東京医歯大 責任者 香川三郎

6. 日本で何を研修しましたか?

Candida の血清法の同定と深部真菌病の診断と治療

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか?

研修してから、当科の真菌室で人体内来 Candida の同定 (2 つのいろいろ) を研究をすすめています。しかし、試験用血清 (日本製) が常に欠けて困ります。

8. 日本での研修の感想を述べてください

たくさん収穫をうけました。日本、科学と技術は高く発達して印象が深いです。勉強した知識はいま仕事にたいへん助けになります。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 孫博程 年齢 33才 性 男

2. 研修期間: 1985年 2月 ~ ~ 年 7月

3. 研修前所属科: 心臓内科 地位 医師
現在の所属科: 心臓内科 地位 医師

4. 研修出発前の研修テーマは?

強心臓電気生理についての復習

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 大阪国立循環器病センター 責任者 内科部長: 下村充朗先生

6. 日本で何を研修しましたか?

日本で心臓電気生理についての換流子法、起搏法を研修しました。そしてCCUでAMIの治療も研修しました。

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか?

帰国後、日本で研修した心臓電気生理を臨床に活用し、実用結節、房室結節の機能を電気生理的手法で検査し、診断をつけやす。そしてペースメーカー植込、冠動脈造影などを研修しています。今後複雑な子転脈、例えばWPW、VAなどの電気生理の検査ができるように努力しようと思います。

8. 日本での研修の感想を述べてください

日本は美しい国で、日本の医療の進歩は世界で有名です。私は大阪のその心と感動を感じました。特に日本医者が患者に同情し、身を惜しまず奉仕するという精神は私に感動させられました。若い医者は返動後のセミナーで院長先生を囲んで自由に質問し議論する雰囲気は私に残っています。日本先生たちの仕事に対する熱意と休まず勉強する精神はわたしたち中国医者が学ぶべきだと思います。日本は先進的な技術をもっている国です。そして国際化の国で、世界各国から来た研修医たちを接待し、世話してくる人々が多いです。だから私はJICAに心から感謝の意を表わしています。中日間の医学交流をますます高まるように祈ります。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 張 偉 年齢 34才 性 男

2. 研修期間: 1987年2月～～～年〇月

3. 研修前所属科: 心臓外科 地位 医師
現在の所属科: 心臓外科 地位 医師

4. 研修出発前の研修テーマは?

冠状動脈疾患の外科治療

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 責任者

大阪国立循環器病センター, 外科医長: 鬼頭義次先生

6. 日本で何を研修しましたか?

冠状動脈バイパスの手術方法について研修した, そして複雑な先天性心臓病の治療, 及び補助人工心臓の実験研究と臨床応用を研修しました。

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか?

帰国後, 日本で習ったリウマチ性弁膜症の手術方法と手術後のICUのモニターなど技術を臨床応用しました。そして複雑な先天性心疾患の治療に対して, 新しい認識を得られました, 手術の順序及びやり方を改善しました。今後補助人工心臓の実験室研修仕事をひらけたくて, 早く臨床に応用するたむ努力しようと思ひます。

8. 日本での研修の感想を述べてください。

日本は美しい国で, 日本民族も勤勉な民族です, 桜と富士は日本のシンボルです。それを話すと, すぐ日本に滞在するときのいろいろなことを目の前に浮かびます。日本で研修したことは, 私として一生忘れられないことです, 日本の先生はまじめな方でやさしい先生です。循環器病センターの諸先生は私にいろいろ先進的な技術と知識を教えて, よく勉強になりました。中国は発展途上の国で, 日本の援助は必要なことです。私は日本で習った技術を中国の医学分野に応用して, 国の建設に貢献しようと思ひます, 最後 JICAの先生たちに感謝いたします。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 鮑新潮 年齢 42 性 男
2. 研修期間： 1988年3月～～～年8月
3. 研修前所属科： 科教処科 地位 付処長
現在の所属科： 科教処科 地位 付処長
4. 研修出発前の研修テーマは？
病院管理
5. 日本での研修施設、指導責任者は？
施設名 責任者
日本厚生省病院管理研究所 大池真澄 所長
6. 日本で何を研修しましたか？
病院の経営管理、医療管理、建築設備 について約四十項目を
研修した。
7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか
医療法規の建立、医療管理、目標管理、職員教育等、今よく仕事に
応用しています。
8. 日本での研修の感想を述べてください
日本での研修に通じて 日本の病院管理レベルが極めて高いと
思います その感想は次のようです。
一、ワンセットの医療保健法があり、
二、医療管理制度が完備、
三、全日本で医療保健制度を行い 社会福祉事業注目、
四、できるかぎり最新医療機械 輸入 採用、
五、病院サービスの絶間なく改善。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 王 国 相 年齢 51 性 女

2. 研修期間: 1984年2月〜〜年8月

3. 研修前所属科 神経内科 地位
現在の所属科 神経内科 地位

4. 研修出発前の研修テーマは?

神経内科の臨床、脳血管病、神経病理

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 東京国立病院 責任者 高年 徹
医務中心 西村 嘉郎

6. 日本で何を研修しましたか?

神経内科の臨床

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか?

神経内科に臨床と病理の研究をしています。
脳、脊髄、周神経系病、筋病
についての文章を発表しました。

8. 日本での研修の感想を述べてください

日本での研修の時間が短かすぎて
研修のゆとりは無いです。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 李国英 年齢 27才 性 女

2. 研修期間: 1988年 3月~1988年 9月

3. 研修前所属科: 薬劑科 地位 薬劑師
現在の所属科: 薬劑科 地位 薬劑師

4. 研修出発前の研修テーマは?

消化器疾患について薬理実験をして来た。

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 富山県薬科庁 責任者 渡辺裕司
和漢薬研究所 物試験部門

6. 日本で何を研修しましたか?

肝臓の膵内のカテーテルアミンの測定をして来た。マウスをKUNで前処置して測定によってその膵内のカテーテルアミンの変化をみまいた。

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか

日本で研修したことを、た実験はいい仕事にはあまり関係は有りません。

8. 日本での研修の感想を述べてください

日本は日本のために働くことは韓国にとって欠けていること
と思います。韓国は開発途上国ですから 色々なところも
ありながら 之にもやっても そう ややくは有りませぬ。これと
日本とちがって ちがっています。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 姜梅 年齢 65 性 女

2. 研修期間: 1984年2月~年4月

3. 研修前所属科: 妇产科 地位: 付研究員

現在の所属科: 妇产科 地位: 主任医師

4. 研修出発前の研修テーマは?

围产医学 { 新生儿溶血症 的临床

正常胎心室内发育指标. — 子宫, 腹围, 体重

3. 胎心监护的临床研究

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名

責任者

千葉大学医学部妇产科教研室

高見澤 裕吉

6. 日本で何を研修しましたか?

围产医学(日本围产医学发展概况、围产保健、胎心监护及
B超在产科的应用)

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか

自1984年在日本参观学习后, 开阔了眼界, 学习了围产保健的措施,

如B超在产科的应用, 提出了胎心监护的应用及新式监护器

8. 日本での研修の感想を述べてください 对目前的工作开展了促进作用。

有一定经验的临床医师, 能有一段时间出国进修是很好的机会

如果没有语言困难及一年可以, 否则半年时间再加有人有

语言上的困难就时间太长了。

希望JICA能继续给予机会以提学我院的医教研水平

中日友好医院

研修テーマと結果

氏名: 李恩生 65才 1924年4月12日生れ

研修先: 日本厚生省病院管理研究所

起止日期: 1981年2月28日から同年9月2日迄

テーマ: 日本病院管理現状
日本医療情報現状
日本カルテ管理(コンピューターを含む)

今迄の中日友好病院での発揮

1. 中日友好病院病室の建立
2. 疾病分類システム(ICD-9:CCD)の建立
3. コンピューターカルテ管理の応用

発揮しなかったもの

1. 中日友好病院での医療情報システム
2. 日本年毎に新しい発展(左もの導入)
3. 中日医学の間 医学情報の定期的交流

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 丁守勤 年齢 47 性 男

2. 研修期間： 1986年 2月～～～年 8月

3. 研修前所属科： 口腔科 地位 技師
現在の所属科： 口腔科 地位 主管技師

4. 研修出発前の研修テーマは？

金属焼付ポーセレン

5. 日本での研修施設、指導責任者は？

施設名 東京医科歯科大学 責任者 細田裕康
の 技工部

6. 日本で何を研修しましたか？

金属焼付ポーセレン

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか

全部で活かされています。

8. 日本での研修の感想を述べてください

日本の歯科材料がよくて 技工士たちは技工学校の学生時代から先生たちに厳しく御指導をいただきます。それから義歯を制作する時にとても精密です。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 菅長 卓也 年齢 45 男性

2. 研修期間： 85 年 7 月 ~ ~ 年 8 月

3. 研修前所属科： 口腔外科 地位
現在の所属科： 口腔外科 地位

4. 研修出発前の研修テーマは？

口腔外科

5. 日本での研修施設、指導責任者は？

施設名 東京医科歯科大学 責任者 塩田重利 教授

6. 日本で何を研修しましたか？

口腔外科

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか

本人の今の仕事は、口腔外科の病棟ないから、
保存科の医師となります。

8. 日本での研修の感想を述べてください

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 劉 徳輝 年齢 51 性 男
2. 研修期間: 1984年 2月 ~ ~ ~ 年 8月
3. 研修前所属科: 一般外科 地位 講師
現在の所属科: 一般外科 地位 副教授、副主任
4. 研修出発前の研修テーマは?
肝臓の疾病、胆結石
5. 日本での研修施設、指導責任者は?
施設名 奥井勝二教授 責任者 奥井勝二、鈴木秀、熊谷信夫
6. 日本で何を研修しましたか?

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか?
大體おなじです。

8. 日本での研修の感想を述べてください

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 王克立 年齢 41 性 女
2. 研修期間： 八七年二月～～年八月
3. 研修前所属科： 病案科 地位 主治医師
現在の所属科： 病案科 地位 主治医師、付主任
4. 研修出発前の研修テーマは？
病案管理、統計分析、医療情報の計算機系統
5. 日本での研修施設、指導責任者は？
施設名 東大医学情報部 責任者 関原成允
6. 日本で何を研修しましたか？
統計分析の計算機応用、医院と病案の計算機管理系統と病案管理
7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか
日本に研修した私は以前は地味で大い違い、主に眼界を広めました。私は発展の方向が、古いものは取り除いていきました。うちの病院の管理系統の電算機化を建設して行きます。しかし器械の条件を備えなく、その型を、適合したいな、研修したことの一部分が、効力を発揮させました。
8. 日本での研修の感想を述べてください
日本の病院管理と医療のレベルが、高いです。とくに医療器械が、一番進んでいります。勉強の時間、とよと短かいため、ほしい知識を、自分が身につけさせました。つづいて交流するとも、ほしいと思えます。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 ばいせい 年齢 43 男性
馬歩成

2. 研修期間: 1984 年 2 月 14日 年 2 月

3. 研修前所属科: 核医学科 地位 主治医師
現在の所属科: 核医学科 地位 主治医師

4. 研修出発前の研修テーマは?

心臓核医学

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 責任者
大阪国立循環器センター 小塚隆弘

6. 日本で何を研修しましたか?

心臓核医学

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか?

いま馬院に心筋シンナグラム、心臓シンナグラムなど仕事を
しています

8. 日本での研修の感想を述べてください

日本では、私が非常役に立っていると(は)は、感銘し
ている。将来チャンスを得て、(は)一回日本へ行って勉強し
てみたいと心から思っているわけです。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 薛子前 年齢 33 性 男

2. 研修期間：88年3月～～～年9月

3. 研修前所属科：消化器科 地位 A1東
現在の所属科：消化器科 地位 A1東

4. 研修出発前の研修テーマは？

内視鏡で大腸病気の検査と診断について

5. 日本での研修施設、指導責任者は？

施設名 実山医科大学 責任者 寺澤稔年
消化器科

6. 日本で何を研修しましたか？

日本で大腸内視鏡の使い方と大腸病気の検査方法と診断方法を研修した。
消化器科の研修は、内視鏡の使い方を学び、さらに検査方法と大腸病気の
診断を学ぶ。

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか

中国に帰る際、内視鏡をよく使った。また、一週間に3-4人を検査し、
多数の患者を診断させた。日本で習った技術は十分に活用している。

8. 日本での研修の感想を述べてください

日本での研修には、食事や住所とか、何かと、医療機械も進んでいる。

残念ながら、患者が少なすぎて、自分で内視鏡を使う機会がまだ不足だ。

時間も短かくて、大腸病気の診断の特別方法の勉強は、不十分感じている。

日本では、今、漢方薬の使用と漢方医者の人数は、あまり多くなったと思われ、漢方薬は
副作用が少なく、世界中では、多くの国でよく使われている。特に、高齢者の病気に効果的だ。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 ^{リウ 博 謙} 劉博謙 年齢 51 性 女
2. 研修期間: 1984 年 2 月 ¹⁹⁸⁴ 年 8 月
3. 研修前所属科: 検査 科 免疫室 地位 主管技師
現在の所属科: 検査 科 免疫室 地位 副主任技師
4. 研修出発前の研修テーマは?
RIA 及び蛍光測定の新技術について
5. 日本での研修施設、指導責任者は?
施設名 群馬大学 責任者 永井 輝夫 教授
付属病院
6. 日本で何を研修しましたか?
RIA による各種ホルモンの測定を研修
検査科免疫室での各検査のキット測定方法を見学
7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか
放射性同位元素の使用は統一して管理されており、RIA についても
臨床研究所で行なわれています。
現在、私は免疫室で蛍光免疫及び各種血清免疫を利用した検査を担当
しています。
8. 日本での研修の感想を述べてください
日本での半年間は、私にとって一生忘れることのできる素晴らしい思い出です。
永井先生は私のためによい勉強条件を設けて下さったので、私はいろいろ
免疫測定の新技術を勉強することができました。特に群馬大学内分泌研究所
の若林克己先生、高崎市内分泌研究所の中川清先生は私に真剣に責任をもち
忍耐強くまじめに講義や手助けをして下さりました。先生方の熱心な
親しみやすい人格は私の心の中にいつまでも残っています。私は必ず見学した
進んだ技術を活用します。国下の仕事はまさにこのように行っています。
自己抗体検査の進んだ技術資料に関して紹介していただくことを考えています。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 菅 晃 郎 年齢 49 性 男
2. 研修期間: 1983 年 3 月 ~ 83 年 9 月
3. 研修前所属科: 消化器 科 地位 主治医師
現在の所属科: 消化器 科 地位 付主任医師
4. 研修出発前の研修テーマは?
超音波で脾臓癌に診断する。
5. 日本での研修施設、指導責任者は?
施設名 川天堂大学附属 責任者 白壁彦夫 教授
病院
6. 日本で何を研修しましたか?
内視鏡と^{超音波と}二重造影を研修しました。
7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか
日本に居る間色々教えた方がいいで病院に帰ってから仕事に
ついてほとんど役に立ちました。
8. 日本での研修の感想を述べてください

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 ^{マ シュウ} 麻 柔 年齢 44才 性 男
2. 研修期間: 1986年 3月 ~ ~ ~年 8月
3. 研修前所属科: 血液科 地位 主治医
現在の所属科: 血液科 地位 主治医
4. 研修出発前の研修テーマは?
1. 白血病、リンパ腫等の治療
2. 造血幹細胞の培養
5. 日本での研修施設、指導責任者は?
施設名 責任者 毛利(げん) 森の(げん)お
東京大学医学部研究所 森茂郎、浅野茂隆
(病理) (病理)
6. 日本で何を研修しましたか?
1. 白血病、リンパ腫等の治療
2. 免疫血液学: リンパ細胞 subsets の検索、FACS、EPICS の活用
3. 造血幹細胞の培養
7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか
森先生から習得した免疫細胞化学法 (PAP-ABC法) が、広く活用
しています。全国で第一に腫瘍乾燥機等にモリタハ抗体を~~送付~~送付
細胞を~~検査~~検査をします。主にリンパ細胞 subsets の検索、白血病、リンパ腫
の免疫分類をしています。諸先生から習得
8. 日本での研修の感想を述べてください
日本は、病院と研究所とで、たいてい、先進設備が持っています。
たいてい FACS、EPICS は、東京大学医学部研究所 附属病院、東京老
人病研究所 持っています、たいてい便利で、この病院は
その設備が、たいてい、石炭、その検査を、手で行けるよ
うです。この病院が、その先進設備を、持った、~~思~~思

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 王梅芳 年齢 36 性 女

2. 研修期間: 昭和63年3月 ~ ~ ~ 年 8 月

3. 研修前所属科: 図書館科 助理館員 地位
現在の所属科: 図書館科 館員 地位

4. 研修出発前の研修テーマは?

現代医学図書館管理

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 東京慈恵会医科大学 責任者 裏田知夫
医学情報センター

6. 日本で何を研修しましたか?

日本で現代医学情報管理についてを研修し、主なコンピュータを応用されて
医学図書資料を処理することを知り、実験DATAを作った。また、各有名な情報
処理機関に見学した。専門視野が広がった。

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか?

去年の九月に中国に帰国した後、私はできる限り、日本で習った業務知識
を自分の仕事に応用されて、今年初我図書館二台端末機がはいった。いま
私と同僚協同で、実験DATA BASEを作った。近い将来うちの図書館のDATA
BASEを作ると、お医者さんに利用することを提供すること

8. 日本での研修の感想を述べてください

日本に一時一番深刻の印象のは、日本同僚たちがよい仕事環境を持って
いる。仕事環境がよい強い学術空気と広い図書館のspace と必要な
設置です。それに私とても羨しい気持ちを持っています。また、日本の同僚たちが
みな積極的に業務技術を探求精神に深く感服させられて、いまでも
この精神から励まされています。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 趙 洪昌 年齢 48才 性 男
ちようこう

2. 研修期間: 83年3月~83年9月

3. 研修前所属科 胸部外科 地位 主治医
現在の所属科 胸部外科 地位 副主任医

4. 研修出発前の研修テーマは?

肺癌の早期診断

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 日本国立癌センター 責任者 池田先生
内視鏡部

6. 日本で何を研修しましたか?

肺癌の診断

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか

研修した内容は、今後の仕事に対して、右へはプラスになった、
内視鏡による、造影と肺癌の診断。

8. 日本での研修の感想を述べてください

半年ほどの研修は、非常に忘れがた、池田先生は
私のいへ先とひう、まっとうな事をがんばれ、先生に対する
謝意を表わします。先生のおえをおいのびします。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 高橋 純一 年齢 49才 性 男
2. 研修期間: 1986年2月 ~ ~ ~ 年 2月
3. 研修前所属科: 放射線科 地位 講師
現在の所属科: 放射線科 地位 助教 副主査
4. 研修出発前の研修テーマは?
医学情報処理(コンピューター)
5. 日本での研修施設、指導責任者は?
施設名 東京大学医学部 責任者 間原 成光 教授
附属病院 中央医療情報部
6. 日本で何を研修しましたか?
日本で SAS など 統計パッケージによっていろいろプロシジヤを勉強しました。
7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか?
いまの仕事は ESR (磁気共鳴装置) で髪とか血清とか対象としてラジアルの信号を覚覚 処理 測定し 其 コンピューターでその信号を処理します。さて 日本で研修した処理方法は かなり役に立っています。
8. 日本での研修の感想を述べてください
日本の病院管理と医学技術が かなり 先進の程度 感じました。これにコンピューターについて 知識が たいへん 強くなりました。東京大学 JICA の 関係にお世話になりました。さて われわれ 日本 中日友好 (二隣) 心をよせる います。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 袁武述 年齢 48 性 男

2. 研修期間: 1983年3月~84年3月

3. 研修前所属科: 臨床研科 助研 地位 (講師)
現在の所属科: 臨床研科 副研 地位 (助教授)

4. 研修出発前の研修テーマは?

モノクローナル抗体の製^作および臨床応用です。

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 大阪市立大学 責任者 森沢成司教授
医学部

6. 日本で何を研修しましたか?

ホリアミンと白細胞間相互作用因子2(あるいはインターロキン2)を研修しました。くわしくいえば腫瘍特異性CTL細胞の誘導および主要組織適合抗原の作用です。

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか?

私は日本で研修して=とに続いて、早く中国でインターロキン2方面の研究を展開しました。衛生部からのテーマを担当しました。いま、インターロキン2との受容体を因んで、免疫調節研究をやっています。

8. 日本での研修の感想を述べてください

本当に良い勉強になりました。心からJICAの方々と森沢教授に感謝をいっていただきます。私は日本友達からのお世話を忘れません。ぜひ中日友好を女に頑張ります。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 楊守礼 年齢 50 性 男
2. 研修期間: 1985 年 1 月 ~ ~ ~ 年 7 月
3. 研修前所属科: 臨床医学研究所 地位 講師
現在の所属科: 臨床医学研究所 地位 助教授, 副主任
4. 研修出発前の研修テーマは?
医学と生物学の研究に同位元素の応用
5. 日本での研修施設、指導責任者は?
施設名 責任者
京都大学医学部 島塚莞爾 教授
6. 日本で何を研修しましたか?
 1. 液体インクレシヨ>測定法
 2. 血中 $1\alpha, 25(OH)_2D$ の測定法
7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか
 1. 液体インクレシヨ>測定法の方面には 効率トレーサ法 (Efficiency Tracing Technique) の研究論文発表しました。
 2. 三種の血中ビタミンD代謝物の測定法を報告しました。
8. 日本での研修の感想を述べてください
 1. 日本はきれいな国です。日本の国民は礼儀を重んじ、親切であることを知りました。
 2. 研究者について 半年の研修期は とても 及びかい と思います。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 ^{世智文} (Ye Chuden) 年齢 50 性 女

2. 研修期間: 1985 年 1 月 ~ ~ ~ 年 7 月

3. 研修前所属科: ^{臨床医学研究科} 生理科 地位 講師
現在の所属科: ^{臨床医学研究科} 生理科 地位 助教授

4. 研修出発前の研修テーマは?

The effect of stimulating some brain area and administering some neurotransmitter on acupuncture analgesia

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 責任者
千葉大学医学部 ^{生理} 教室 本間二郎教授

6. 日本で何を研修しましたか?

微小神経電図記録。

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか

"anti-aging study" に微小神経電図記録を応用しました。

8. 日本での研修の感想を述べてください

1. 日本人は親切で、電車の中も人人が必ず何か語っています。家族を誘います。

2. わたしは研究生として(特別に基礎研究者として)教室に常駐し、とまどいがないで、とれどれ(実験はやらせられ、^{いか} 議論)。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 趙世萍 年齢 40 性 女
2. 研修期間: 1984年 2月 - 1984年 8月
3. 研修前所属科: 研究所 ~~薬物~~薬理室 地位 助手 (実習研究員)
現在の所属科: 研究所 ~~薬物~~薬理室 地位 講師 (助理研究員)
4. 研修出発前の研修テーマは?
漢方薬有効成分について
5. 日本での研修施設、指導責任者は?
施設名 千葉大学薬学部 責任者 坂井進一郎
6. 日本で何を研修しましたか?
漢方薬(釣藤)有効成分について

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか

日本で研修したことが現在の仕事に大きな役にたちました。いま、研究しているのは有機酸代謝異常症患者の尿の成分について、日本で研修したことが現在の仕事の基礎となりつつあります。

8. 日本での研修の感想を述べてください

1. 日本の科学が確かに発展している
2. 期間が短い。習ったことが少いと思ふ。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 陳 潔 華 年齢 39 性 女

2. 研修期間: 1984年2月~1984年3月

3. 研修前所属科: 臨研所科 薬物室 地位 助手
現在の所属科: 臨研所科 薬物室 地位 講師

4. 研修出発前の研修テーマは?

心臓と血管の薬理学

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 順天堂大学医学部 責任者 真島 暎 信
第2生理教室

6. 日本で何を研修しましたか?

心臓と心室収縮動力学

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか?

日本で研修したことが心臓の勉強になったから、その方面の設備は安心から、
その方面の研究は、正を共感、其期間が短かいため、習ったことが少いかな。

8. 日本での研修の感想を述べてください

日本人と中国人は、非常な好む

日本の科学技術が先進です

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 周 新 年齢 62 性 女
2. 研修期間: 1984 年 2 月 ~ ~ ~ 年 4 月
3. 研修前所属科: 病理生理科 地位 付教授
現在の所属科: 病理生理科 地位 教授
4. 研修出発前の研修テーマは?
1. 针刺の調節機能
2. 舌質と舌微循環
5. 日本での研修施設、指導責任者は?
施設名 順天堂大学 責任者 真島英信教授
6. 日本で何を研修しましたか?
在順天堂大学、大阪循環器病中心、岡崎国立共同研究機構等十余的研究机构
参观了有关血液循环学及微循环的工作
7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか?
与日本国立共同研究机构和生理研究所、共同研究针刺机理。
8. 日本での研修の感想を述べてください。
日本各研究机构设备先进、人民友好、中日两国科学家应密切合作、取长补短。
互相

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 喬 付 年齢 50 性 男

2. 研修期間: 1986年2月〜〜年8月

3. 研修前所属科: 研究所細胞生物室 地位

現在の所属科: 研究所細胞生物室 地位

4. 研修出発前の研修テーマは?

放射線と染色体異常
線量-反応関係の研究

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 東京医科歯科大学
難研所細胞遺伝部門 責任者 外村 晶

6. 日本で何を研修しましたか?

人の染色体異常
固型腫瘍の染色体研究法

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか?

現在の仕事は(1) 遺伝病患者の染色体を検定し、

(2) 肺癌細胞の染色体研究

現在の仕事によく生かされています。

8. 日本での研修の感想を述べてください

(1) 日本の先生たちはとても親切に存りた

(2) 基礎学科の研修は半年時間が短かいです

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 彭俊云 年齢 53 性 男

2. 研修期間: 1984年2月~1985年2月

3. 研修前所属科: 科 細胞生物 地位 助理研究员
現在の所属科: 科 細胞生物 地位 研究室副主任 副研究员

4. 研修出発前の研修テーマは? 1. 5-HT, polypeptides 及 DBH などとの免疫組織化学技術のこと 2. 蛍光組織化学と普通組織化学との顕微分光光度計に関する定量技術のこと 3. Receptors について Transmitters 及 polypeptides などの形態学技術のこと

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名	責任者
電子顕微鏡・顕微鏡など	和氣建二郎教授、岸清教授
顕微分光光度計	山田正興教授

6. 日本で何を研修しましたか?
日本で神経組織の普通及免疫電子顕微鏡技術と、蛍光組織化学及普通組織化学の顕微分光光度計に関する定量技術などを研修しました。

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか

日本で研修したことが、現在の延緩老衰及腫瘍の発病機理と診断と治療の研究に漢方薬で生かされています。

8. 日本での研修の感想を述べてください

これからの基礎と臨床などの研究に日中の互い友好的に続き、協力したいと思っております。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 楊維稼 年齢 47 性 男
2. 研修期間: 1987年2月～～年8月
3. 研修前所属科: 臨研所科 藥劑學 地位 専攻研究員
現在の所属科: 臨研所科 藥物學 地位 副研究員
4. 研修出発前の研修テーマは?
コエンザイム系漢方薬を研究する
5. 日本での研修施設、指導責任者は?
施設名 富山医大 和薬科 責任者 菊池 清文
6. 日本で何を研修しましたか?
漢方薬の成分について植物化学を研究しました。
7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか
現在の研究のテーマに支えて 研究のすゝめとか新薬開発の
有用とか良い効果があります。
8. 日本での研修の感想を述べてください
日本での研究の時間が短かすぎた。もう一つ機会を欲しい。
専門研究の人は研究の期間について1～2年がよい。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 姜翠雲 年齢 50才 性 女
2. 研修期間: 1986 年 2 月 ~ ~ ~ 年 8 月
3. 研修前所属科: 検査 科 地位 主管技師
現在の所属科: 検査 科 地位 主管技師
4. 研修出発前の研修テーマは?
酵素と新しい実験
5. 日本での研修施設、指導責任者は?
施設名 順天堂病院 責任者 林康之教授
中央検査科
6. 日本で何を研修しましたか?
AEP, GOT, GPT, LDH Buw (KP) 表と 2CC-30 自動分析機械の相關実験, 同種向再現性
以心値計算, 検査線測定, 機械精度管理を勉強しました。LDH AEP, Lipo CPK AMY
のアイソザイム, 尿に付存性 LDH 測定, 免疫電気法 AMY 測定を勉強しました。HBe 抗原。
抗体検査, 薬物濃度測定, T₄ 測定方法と蛍光偏光イムノアッセイ原理の伝授を受けた。
7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか
日本で研修をした時おもにアイソザイムを勉強しました。むかし 私の電化室アイソザイム
とリボ検査をやることができません。今は LDH アイソザイムとリボ実験もうやりました
これに尿の電気泳動実験と CPK アイソザイムをやることもできます。
8. 日本での研修の感想を述べてください
私は先生からいろいろ教えてもらいました。私の先生はいも熱心に講義して下さい
ました。半年の研修期間において多くの新しい実験の理論, 方法, 計算を学びました
ので今後の実験の良の基礎が出来たと思えました。JICA と林康之先生に教わり
と感謝しています。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 肖丹 年齢 42才 性 女
2. 研修期間: 1988年3月 ~ ~ ~ 年8月
3. 研修前所属科: 中医内科 地位 主治医师
現在の所属科: 伝染病科 地位 主治医师

4. 研修出発前の研修テーマは?

免疫病と結合織病の診断、治療と実験室検査方法。

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 東京大学医学部 責任者 宮本昭正
附属病院物療内科 諸井泰興

6. 日本で何を研修しましたか?

免疫病の診断と治療方法、抗核抗体の実験室検査方法を研修しました。

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか?

中国で肝臓病の患者さんが多いです。慢性肝臓病を免疫病の一つとして発病順序を研究したいと思います。中西医結合方法で肝臓病の療効をあげることが私のきぼうです。漢方薬の作用機理を

8. 日本での研修の感想を述べてください(希望) 免疫方面に探究しています。

日本の医学設備と実験室技術が優れています。中国に漢方医と漢方薬があります。あの漢方薬の療効が高いです。すぐれる技術と先進な治療方法と一緒に使えば、難病の治癒率があげられると思います。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 尹戸大 年齢 46 性 男

2. 研修期間: 1987年2月～～年8月

3. 研修前所属科: 臨研所(科)生物物理室 地位 主管技師
現在の所属科: 臨研所(科)生物物理室 地位 主管技師

4. 研修出発前の研修テーマは?

電気生理の技術

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 千葉大学 責任者 本間 三郎 教授
第一生理教室 中島 祥夫

6. 日本で何を研修しましたか?

主として 7T17 医用信号処理器の使い方及び基礎のプログラムを習いました。別の方向は、脳機能研究施設で熱電効果による脳局所血流測定を習いました。

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか?

うち研究所の信号処理器の利用を進めました。しかしうち研究所の設備はあまり先進ではなく、習った知識を充分に利用するのにはきびしい。

8. 日本での研修の感想を述べてください

日本に半年間研修中、先生方熱心にお教えたこと、ありがたかったです。日本の主眼点 脳研究と先進的な設備が、日本先生方は 脳研究を進めるために、一生懸命に努力するの深い印象が残っています。そして視野を広くとらえた。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 周宝玉 年齢 52歳 性 女
2. 研修期間: 1985年1月～～年7月
3. 研修前所属科: 神経内科 地位 主治医. 講師
現在の所属科: 神経内科 地位 副主任医師

4. 研修出発前の研修テーマは?

脳血管障害の診断と血液流変学及び血小板凝集
機能の研究

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 国立循環器病センター 責任者 山口武典

6. 日本で何を研修しましたか?

私は日本国立循環器病センター脳血管部門の病棟で4か月研修しました。そこで患者さんを見、実験室に見学し、たとえば Xenon CT, MRI, Cerebral Angiography, regional cerebral blood flow などの検査を、よく勉強になりました。

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか?

研修とわかに脳血管障害の診断方法の進展と治療を、一層理解いたしました。おそれの病院開院以来、私はおと脳血管障害方面の仕事をしています。主に中西医結合の治療を研究しています。

8. 日本での研修の感想を述べてください

私は日本の技術はたしかにすすんで、設備がよいとあって、その応用率も研究レベルも高いと思います。

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 曾憲浩 年齢 53才 性 男

2. 研修期間: 1998 年 3月 - 98 年 8月

3. 研修前所属科: 外科 地位 付 処長
現在の所属科: 外科 地位 処長

4. 研修出発前の研修テーマは?

病院管理

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名	責任者
<u>呼吸器病管理研究所</u>	<u>大池真澄</u> 所長

6. 日本で何を研修しましたか?

病院管理、病院経営についての内容を研修した。

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように生かされていますか

病院管理、多角経営、サービス改善等、これから応用できると思います。

8. 日本での研修の感想を述べてください

日本の研修を通じて、早く感じたのは、まず、病院経営者が病院長に選ばれる用件に、これだけ重視される上に、上下、横(同僚)、部下の関係をよくして、皆の意欲を向上させる力があることだ。これは、いかに大切かと思ふ。

曾憲浩 高川大学にて

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 李忠利 年齢 49才 性 男
2. 研修期間: 1988 年 3 月 ~ 88 年 8 月
3. 研修前所属科: 産科 科 地位 産科助産
現在の所属科: 産科 科 地位 産科助産
4. 研修出発前の研修テーマは?

病院管理

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 責任者
日本厚生省病院管理研究所 大池真澄 所長

6. 日本で何を研修しましたか?

病院管理、人事管理、薬剤管理について約10項目を研修した。

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか?

人事管理、薬剤管理、サービスクオリティ、これらが応用できると思います。

8. 日本での研修の感想を述べてください

日本での研修を通じて、深く感じてきたのは、首脳として病院管理者が院長に定められた目標に力を入れて実現させるために、互に(同僚)、部下の同僚を多くして、皆の意欲を向上させ、より高い目標に向けてがんばっていくことが大切だと思っ

日本研修後、当院における活動に関する報告

(日本語で記述してください)

1. 姓名 篠 高明 年齢 31 性 男

2. 研修期間: 1988年3月 ~ ~ ~ 年 8月

3. 研修前所属科: 放射線科 地位 住院医師
現在の所属科: 放射線科 地位 主治医師

4. 研修出発前の研修テーマは?

Interventional Radiologyを研修する+2院に日本へまいりました。

5. 日本での研修施設、指導責任者は?

施設名 藤川栄一 責任者 吉川達也

6. 日本で何を研修しましたか?

日本へ行く+2院に Interventional Rad. の新しい技術の免
強をしました。

7. 日本で研修したことが現在の仕事にどのように活かされていますか?

病院へ来る毎に Interventional Radiology の仕事

はじめて。

8. 日本での研修の感想を述べてください

今回の研修では 小林先生 大変お世話になりました。
ここで新しい技術と知識をおしえていただきました。研修期
間中はいろいろなことがおもしろいと感じました。研修
免強になりました。

1989 5 25

中日友好临床医学研究所工作总结

1989年5月25日。

一、概况

(一). 筹建过程: 中日友好临床医学研究所是日本政府援建中日友好医院时筹建的学科齐全, 以中西医结合为主要研究方向的综合医学研究所。临研所直属中华人民共和国卫生部, 为一级研究所, 挂靠在中日友好医院, 能独立招收与培养硕士与博士研究生以及外国留学生。于1984年10月23日成立, 面积6000多平方米。

(二). 科室与人员配置: 临研所设有电镜、细胞生物、免疫、生理病生、生物物理、药物药理、生物化学、血液流变、同位素、中西医结合与实验动物等11个研究室以及隶属于临床的内分泌、心电标测、外科、内科、血液病等5个临床研究室。

临研所现有专职人员136人, 其中副研究员以

上高级研究人员 39人, 占 28.7%。

(三). 仪器设备: 建院初期, 由于重点保证医院临床开诊所需装备, 而原定的第二期装备临研所的计划, 因故未能实行。所以临研所仅得到日方提供的电子显微镜, 气相色谱仪, 高速离心机, 八导生理记录仪等部份大型仪器, 以及1988年日方提供的5亿日元援助项目中拨给临床医学研究所的电子自旋共振波谱仪, 红外分光光度计等大型设备; 由于科研工作急需, 建所以后, 由中方用第三国外汇补充购买了液体内燃仪, γ 计数仪, 细胞分光光度计, 纸切速血液粘度计, 高压液相仪, 超薄切片机, 电子计算机等大型设备以及比较齐全的常规科研设备。

1. 仪器的使用与开发: 目前临研所现有仪器设备, 绝大多数都得到充分利用, 为科研与临床服务。例如:

(1). 液体内燃仪已测定样品10万份。使用率高, 维护良好, 在国内同类仪器中居首位, 受到国外厂家的称赞。

(2). 电子自旋共振波谱仪直接用于临床诊断服务。在国内我们是第一家。安装不到三个月，即投入使用，开展脑血管病及贫血病人的血清ESR谱诊断工作。低切速血液粘度计亦为心内科、神经内科患者测定血样200余例。

(3). 电子显微镜在毛细胞白血病诊断、肾移植患者活检诊断、硬皮病患者弹力纤维形态改变研究，以及突触超微结构的研究都作出一定成绩。

(4). 气相色谱仪在中药成分与鉴别分析，以及小儿先天性代谢异常的诊断上，取得良好结果。

(5). 紫外分光光度计与荧光光度计为全所公用仪器，亦达到较高的使用率。

2. 存在问题：

(1). 一些仪器附件不全，如VC-10电生理仪，万能显微镜等，缺少必要配件，影响性能充分发挥。

(2). 酶标仪来货后质量有问题，不能使用，正交涉。

保修与更换。

(3). 目前还缺乏一些必要的常规科研设备, 如冷冻干燥机, 研究用显微镜, 低温超速离心机等。影响工作开展。

(4). 一些仪器如液体内炼仪已工作五年, 需要更新。

(四). 人员交流与合作项目:

(1). 临研所经 JIKA 派出赴日本研修生 12 名, 回国后都能学用结合, 在科研工作中作出成绩。

(2). 来临研所进行学术交流与讲学的日本专家 6 名, 对临研所科研工作有一定帮助。

(3). 合作研究项目共有四项:

1). 小柴胡汤抗病毒作用研究: 与日本富山医科药科大学合作;

2). 白细胞流变学研究: 与日本大阪循环器研究中心合作;

3). 针刺对睡眠影响作用研究: 与日本岗崎国立

共同研究机构生理研究所合作；

4. 骨矿代谢研究：准备与日本金泽^(医科)大学合作。

二、科研工作：

(一) 科研课题：共进行62项，其中国家级与部级中标课题24项，包括国家攻关与重大科研课题5项。

研究课题分类：

1. 中西医结合研究课题，占51.6%。

2. 基础与临床应用相结合的研究课题，占32.3%。

3. 基础理论研究课题，占16.1%。

(二) 科研成绩：

1. 科研成果：共取得8项科研成果，其中国家科技一等奖(合作)1项，部级成果奖2项，与其他单位协作取得的部级与市级成果奖5项。

2. 科研论文：共发表190篇，其中在国外发表44篇，得奖论文11篇。

3. 编写学术专著 4本.

4. 参加国际性学术会议 24人次.

(三) 具体研究工作成绩.

1. 中西医结合抗癌研究: 临研所与临床配合, 开展3肿瘤单抗, 直流电针凝结, 磁微球导向, 以及中药抗癌的研究等, 在国内具有一定学术地位, 计有:

(1). 肺癌单克隆抗体研究: 建立3裸鼠人肺癌移植瘤模型, 得到选择性好, 反应性强的肺癌单抗; 与人肺癌组织阳性率为83.7%, 经以 ^{125}I 标记单抗, 在 γ 扫描仪上可得荷瘤裸鼠肿瘤的清晰图象. 取得部级成果三等奖.

(2). 抗多胺代谢的抗癌作用研究: 证实多胺合成抑制剂 α -二氟甲基鸟氨酸 DFMO 能抑制 HL₆₀ 肿瘤细胞的生长与DNA合成, 诱导分化. DFMO 可使 C-myc 癌基因表达减少, 而 C-fos 基因表达增加, 有剂量依存关系, 表明 DFMO 抗癌作用与其对基因表达影响有一定关系.

(3). 蛇毒抗癌研究: 在蛇毒中分离出抗癌组分, 能抑制 HL60 细胞的生长, 抑制 DNA 与蛋白质合成, 以及抑制 C-myc 癌基因的表达。

(4). 磁微球定位抗癌研究: 将抗癌药物与同位素, 制成磁微球, 在小型永磁材料体外定位下给药, 经 X 线相片与 β 照相证实, 定位确切, 动物试验证实可杀灭肿瘤, 制止其生长, 已初步用于临床, 本项工作, 引起国外核医学家的重视。

(5). 直流电针抗癌研究: 与有关单位合作研制了直流电凝抗癌仪, 动物试验证实有抗癌作用, 应用于临床治疗晚期癌症患者, 可使肿瘤缩小, 延长存活期。已在国内推广, 为国内首创。

(6). 抗癌中药研究: 应用金属盐类与清热解毒中药配伍制成克癌 7851 药物, 治疗肿瘤病人, 取得一定疗效; 应用 ESR 谱及电子能谱技术发现肿瘤区能集中摄取某些金属离子, 动物实验能提高荷瘤小鼠免疫力, 抑制肿瘤生长。

(7). 对一些抗癌作用的中药如扶正解毒冲剂, 养气补

血冲剂, 少林王泉等的实验研究, 证实有增强免疫与抑癌作用。

(8). 肿瘤免疫调节研究: 在国内较早开展用白细胞介素 2: IL-2 加肿瘤相关抗原免疫, 可推迟肿瘤出现, 延长存活期。

(9). 开展玻片微量细胞培养法及体内外实验相结合的方法, 进行中西药物对肿瘤细胞的治疗作用。

2. 中药免疫作用研究:

(1). 用淋巴细胞转化的方法, 筛选了大量中药, 发现有一些中药有增强免疫的作用, 另一些中药有抑制免疫的作用。并发现某些中药与人体内皮细胞, HLA, ABO 血型存在有交叉抗原, 已选用有效的中药配成复方, 在临床上治疗新生儿溶血, 红斑性狼疮, 皮炎和肾移植免疫排斥反应病人, 取得一定疗效。

(2). 证实北柴胡汤可诱生干扰素, 增强抗病毒的作用。

(3). 证实中药黄芪与黄芪多糖能使小鼠巨噬细胞增多, 酸性磷酸酶与乳酸脱氢酶等活力增强, FC受体增多, 吞噬能力增强, 表明黄芪可激活巨噬细胞, 增强抗病能力.

3. 中药抗衰老作用研究:

(1). 中药长春丹可使老年大鼠下丘脑正肾上腺素能神经元增加, NA含量下降, 血浆NA含量有上升趋势, 提示长春丹可增加下丘脑NA释放, 改善老年大鼠下丘脑垂体-内分泌轴的调节功能. 长春丹明显改善老年大鼠记忆的功能, 增加海马M受体的数目, 抑制MAOB的活性, 阐明了提高老年记忆功能的机理, 与海马乙酰胆碱M受体功能增强有关.

(2). 根据名老中医方剂, 研制祛风延寿茶, 动物实验有降血脂, 降血糖作用, 临床111例高血脂病人观察证明降血脂总有效率为85%, 已转药厂生产投入使用.

(3). 对30多种补益中药进行筛选, 发现有10多种有促进学习巩固记忆的作用, 并观察到主要通过激活

胆碱能神经起作用。

4. 其他中药方面的研究:

(1). 在 20 多种中药中筛选出 4 种抗血小板聚集的中药, 并观察到其中一种生物碱单体的抗血小板作用是通过升高 CAMP 和抗钙作用而实现。这一工作受到国内同行的称赞。

(2). 保肝药物研究: 发现一种植物种油对四氯化碳和半乳糖胺引起的动物肝损害有保护作用, 使转氨酶降低, 血过氧化物脂质减低, 肝坏死灶减少。临床试验亦有降低转氨酶与改善症状的作用。
SGPT ↓, LPO ↓, Necrosis ↓

(3). 人参皂甙对脑微血管的作用: 在国内最早制备了脑微血管标本, 证实人参皂甙可能作用于血管平滑肌的 M 受体, 出现舒张的作用。

(4). 中药成份的分离, 是寻找新药途径之一, 共分离出巴戟天的环烯醚萜甙, 沙苑子黄酮, 山茱萸总甙,

金钱草黄酮, 桑叶多籽及苜蓿多籽等, 并进行初步的
药理试验。

(5). 中药指纹谱的分析:

1). 用顺磁 ESR 谱测定 50 多种中药, 发现不同中药
其 ESR 谱各有不同, 可用于药材辅助鉴别与质量控制。

2). 用气相色谱仪测定中药中挥发性成分的指
纹图谱, 并与标准谱进行比较, 可以区别不同品种与产地
的中药, 为质量控制, 提供了手段。

5. 中医理论的研究:

(1). 针刺机理研究: 应用电生理, 放射自显技术, 实
神经通路实验表明, 电针足三里抑制牵拉胃反应是通过薄束与薄束核
上结, 作用于孤束核而实现, 对参与调节的神经核团和
神经递质进行了系统研究, 提出新的观点, 为中医学教材
采用, 并获部级科技进步三等奖。

(2). 舌诊的研究: 在国内最先研制了舌表浅血流量仪,

观察舌的微循环,对肾炎,哮喘病人舌质变暗.紫时,舌血流量下降,微血管迂曲,挛缩,病情好转,以上变化亦改善.为舌诊建立客观依据.

舌苔脱落细胞观察发现,肿瘤病人比正常人深层染色细胞增多.开展用组织化学的方法研究舌苔的新途径.

(3).体表激发电势研究:将激发电势作用于手心,测定左手内关区144个点阵的激发电势;用电子计算机作图,发现内关区有三条纵走排列的高电势带,与手三阴经的走行相似,可能是研究经络本质的一种新方法.
(3.舌体穴位与经络)

6. 基础结合临床应用的研究:

(1).肾移植免疫监测:配合临床开展肾移植工作,在国内最先测定移植病人IL-2的产生,IL-2受体表达,以及抗血管内皮细胞抗体的监测工作,受到同行的称赞.由于开展HLA配型,监测移植排斥反应,用电镜测定

肾穿刺活检,以区分排斥和环孢素中毒,提高了移植成活率,使我们刚起步的移植工作,数量虽不惊人,但质量却跃入国内先进行列。

(2). 电镜用于临床病理诊断: 已开展毛细胞白血病, 心脏病活检, 各类肾炎穿刺活检, 神经肌肉活检, 硬皮病, 天疱瘡, 皮肤肿瘤的诊断, 对提高临床诊断水平有较大帮助。

(3). 开展 1, 25 双羟 VD, 25 羟 VD, 24, 25 双羟 VD 的高压液相测定工作, 是国内首创, 独此一家能作 VD 三种衍生物的测定, 应用于小儿佝偻病, 肾病综合症, 骨质疏松症的诊断和治疗, 在临床上具有重要意义。

(4). 开展骨密度的测定工作, 已测定北京地区正常人及地铁工人 2000 多例, 为骨代谢病的诊断和治疗, 提供检测手段。

(5). 开展临床病人 ESR 谱的测定, 已作 60 多例。

用于鉴别缺血性贫血与恶性贫血有特异诊断意义。并发现脑血管病急性期血清中有异常ESR信号存在,恢复期消失。ESR用于临床,国内居首次。

(6). 血液流变学的研究: 对神经科, 血液科及心脑病患者 200 多例, 及时发现血液流变学异常变化, 为临床治疗提供参考依据。

(7). 单克隆抗体临床应用:

- 1). 取得三株人血管内皮细胞单抗, 用于VEC分型
- 2). 取得猪卷尾虫幼单抗, 棘球虫幼单抗及中华分枝睾吸虫单抗, 用于临床诊断, 提高确诊率, 获北京市科技进步奖。

(8). 开展HLA与疾病关联的研究, 对银屑病, 结核, 糖尿病, 重症肌无力, 小脑共济失调症病人, 开展群体与家系调查, 取得一定成果, 处于国内领先地位。

7. 基础理论研究:

(1). 首次用免疫组化方法, 证实心房肽与心钠素共存于心房肌细胞, 脑钠素亦存在于心肌, 内皮素位于内皮细胞内, 对循环系统的内分泌功能补充了资料。

(2). 皮肤弹力系统纤维研究: 用组化方法可以区分三种不同类型弹力纤维, 对临床诊断有重要意义, 论文获北京市优秀论文奖。

(3). 记忆神经元网络与信息加工研究: 在人工神经元电子模拟, 软件模型以及人工神经网络分析方面, 取得一定成果。在研究记忆的物质基础海马与苔状纤维突触集群超微结构方面, 取得可喜进展。

(4). 组织相容抗原方面, 建立了HLA血清库, 研究了人群HLA的分布与迁移。发现中国人以长江为界分为南、北二组人群, 证实藏族民族属中国北方人群, 由甘肃迁移, 与印度的HLA类型明显不同。

(5). 血液流变理论研究: 提出凝血过程的动

学模型和血小板聚集动力学模型,工作已在国外发表。

可应用于临床分析高凝与低凝状态。

(6). 在狗脑内分离出对抗吗啡镇痛作用的多肽
Peptide.
物质,正在进行多肽序列测定。

(7). 肺癌DNA转化固性研究,证实有致癌及扩增癌基因的作用。

三、科研方向与未来规划:

根据现有工作基础,科研方向主要围绕,

(一). 中西医结合研究,开展:

(1). 中西医结合抗癌研究,癌基因与抗癌基因的研究,

(2). 中药免疫研究,

(3). 中药抗衰老研究,

(4). 中医、中药理论研究。

(二). 基础与临床结合研究

(1). 重点配合器官移植工作开展免疫调节、自由基

医学的研究等。

(2). 根据临床需要开展提高诊断与治疗水平项目的研究

(三). 未来的规划与存在问题:

目前临研所科研力量比较雄厚, 经过努力取得不少成绩, 但由于装备不足, 影响科研水平的提高与科研工作的进一步开展。我们希望:

(1). 首先将现有的设备附件配套齐全, 如 VC-10 电生理仪器附件, 电子显微镜附件, 万能显微镜附件, 等补充完全, 以充分发挥仪器的效能;

(2). 对一些常用的目前仍短缺或需更新的设备, 加以补充, 如全所急需的冷冻干燥器, 大容量常温超速离心机, 研究用显微镜, 液体闪烁仪等急需的公用设备, 能补充购置, 使工作能继续进行。

(3). 根据工作需要, 有计划有步骤地引进与更新先进的科研设备, 如研究中药用的气相-质谱连用仪, 核磁共振谱仪, 研究肿瘤细胞用的流式细胞计数

仪, 图象分析仪, 研究生化成份的多用电泳仪, 多肽合成仪, 核酶合成仪, 研究微循环的^{激光}多普勒血流测速仪, 电视测速仪, 电磁血流量计等。

我们相信, 通过中日双方的共同努力, 在医学领域, 特别是中西医结合研究领域, 合作研究的前景是很光明和远大的。

JICA